

平成 26 年度の内部被ばく検査の実施状況について

1 固定式ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の結果

平成26年度においては、4月までに1回目の検査が一巡したことから、5月から2回目の検査を、北部地区から順次、実施してきました。

平成26年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者11,409人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1mSv未満であり、検出限界値を下回った方は11,385人で、全体の99.8%となっています。

受検者数	預託実効線量			
	1mSv 未満	1mSv	2mSv	3mSv
11,409	11,409	0	0	0

※ 預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量（成人は50年、子どもは70歳まで）

※ 検出限界値は、放射性セシウム 134=200ベクレル、放射性セシウム 137=220ベクレル（検出限界値を預託実効線量に換算した場合、「3～7歳」の例で示すと、0.058mSvとなります。）

年齢別受検状況

年齢区分	～9歳		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	2,611		1,756		734		1,780		1,572		2,956	
	1,311	1,300	842	914	202	532	508	1,272	456	1,116	1,258	1,698

※ 年齢は、H23.3.12時点で区分しています。なお、4歳未満の子どもを対象とした検査を開始したため、「～9歳」の区分にはH23.3.12時点での未出生児も含まれています。

2 巡回方式による内部被ばく検査の結果

市内の小中学校に在学する児童・生徒については、県が所有する車載式ホールボディカウンターにより、学校を巡回しながらの検査を実施してきました。

また、県外に避難された方についても、県において各都道府県を巡回しながら検査を実施してきました。

平成26年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者 20,495 人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1mSv未満であり、検出限界値を下回った方は 20,483 人で、全体の 99.9%となっています。

受検者数	預託実効線量			
	1mSv 未満	1mSv	2mSv	3mSv
20,495	20,495	0	0	0

年齢別受検状況

年齢区分	～9歳		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	15,886		4,148		27		58		56		320	
	8,001	7,885	2,098	2,050	12	15	19	39	24	32	130	190

(参考 これまでの検査結果)

年度別受検者数の推移

年度	受検者数	預託実効線量	
		1mSv 未満	うち不検出
H23	3,100	3,100 (100%)	2,754 (88.8%)
H24	43,457	43,457 (100%)	42,870 (98.6%)
H25	18,678	18,678 (100%)	18,546 (99.3%)
H26	31,904	31,904 (100%)	31,868 (99.9%)
計	97,139	97,139 (100%)	96,038 (98.9%)

月別受検者及び検出者の推移

